

第3回武豊町行政改革推進委員会 会議議事録

1 開催日時

令和7年12月1日（月） 9時00分～9時57分

2 開催場所

第2・3・4会議室

3 出席者（敬称略）

（武豊町行政改革推進委員会）

橋詰 弥久雄	武豊町商工会長
穂刈 正洋	武豊町経営者懇談会代表
栗本 孝成	武豊町老人クラブ連合会長
中川 美知夫	武豊町社会福祉協議会長
青木 宏和	区長代表（長尾部）
井上 久枝	武豊町ボランティアセンター代表
長与 譲治	武豊町スポーツ協会長
小藤 省吾	武豊町文化協会長
羽山 英幸	公募委員
池田 正則	公募委員
柴田 純世	公募委員

（欠席者）

出口 真実	武豊町子ども会育成連絡協議会副会長
磯部 亮	武豊町勤労者代表（連合愛知知多地域協議会）
伊賀 亜矢子	公募委員

（事務局）

池田総務部長、長谷川総務課長、中川課長補佐、
磯村主査、鳥居主事

4 議事内容

発言者	発言要旨
長谷川 総務課長	（開会にあたっての連絡事項） 定刻となりましたので、ただいまから 「第3回武豊町行政改革推進委員会」を開催させて頂きます。 始めに、小藤会長からごあいさつをお願いします。

小藤会長	<p>皆様おはようございます。</p> <p>武豊町行政改革推進委員会会長を仰せつかっております、小藤と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。</p> <p>本日は3回目の委員会となりまして、先日実施しました、パブリックコメントの結果を中心に、最終的な審議を行ってまいります。</p> <p>前回同様、スムーズな議事の進行にご協力を願います。</p>
長谷川 総務課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、前回同様となります、この会議は公開で行い、開催内容につきましても、会議の写真をまじえて、町のホームページで、広くお知らせさせて頂きますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、これより議事に入りたいと思います。</p> <p>小藤会長、議事の進行をお願いします。</p>
小藤会長	<p>議事に入ります前に、本日のスケジュールについて確認をしておきます。</p> <p>本日は、先ほどお伝えしましたとおり、先日実施されたパブリックコメントの結果等について審議を行い、当委員会として、第8次行革プラン（案）の答申案を取りまとめたいと考えております。</p> <p>なお、とりまとめた答申案につきましては、本委員会の終了後、委員会の代表として、会長の私から、鳥羽町長へ答申をさせて頂きます。</p> <p>限られた時間とはなりますが、スムーズな議事進行に、ご協力を願い致します。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>次第2（1）、「武豊町第8次行革プラン（案）の修正と意見について」</p> <p>事務局より、説明をお願いします。</p>
中川 課長補佐	<p>総務課課長補佐の中川です。よろしくお願ひします。それでは、次第2（1）「武豊町第8次行革プラン（案）の修正と意見について」説明いたします。以降説明は着座にて失礼致します。</p> <p>資料1及び資料2をご覧ください。</p>

	<p>資料1は、パブリックコメント実施時に使用した最終的な行革プラン、資料2は、掲載している各グラフについて、最終的な金額に差替えるとしていた、各グラフ等の修正前、後を図示した資料となります。</p> <p>10月6日に、皆様に文書でお伝えさせて頂きましたが、最新の町財政計画を試算しましたところ、現状のまま行政運営を続けた場合、令和12年度に、町の貯金である財政調整基金が底を突く可能性が出てきました。</p> <p>資料2の4ページが残高のグラフで、それに伴う計画本文の修正が、5ページとなります。</p> <p>ともに、先日郵送した内容から変更はなく、修正したプラン(案)にてパブリックコメントを実施しました。</p> <p>パブリックコメントの結果につきましては、後ほどご説明させて頂きますが、池田委員より、本件に関してご意見を頂きましたので、意見に対する内容の説明をさせて頂きます。</p> <p>資料2の6ページをご覧ください。</p> <p>表の左側が頂いたご意見になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害時の対応について ②事業運営の中止について ③住民サービスの停止について ④公共料金の改訂について ⑤補助金について ⑥歳出増となる原因について <p>以上6点について、ご意見を頂きました。</p> <p>事務局の回答としましては、表の右側に記載の通りとなります。</p> <p>①災害時の対応については、通常の予算の考え方とは異なります。国の支援等もありますので、基本的には今回の財政見通しにより、災害等の対応が変わるものではありません。</p> <p>②③⑤については、財政調整基金残高を適正に確保していくよう、歳入確保や、業務の効率化、既存事業の見直しを行っていく予定です。しかしながら、やみくもに事業を廃止すると</p>
--	--

	<p>いうことではなく、関係部署等と調整を進め、住民サービスへの影響を慎重に見極めながら、適切な事業の取捨選択を実施してまいります。</p> <p>なお、ご意見にある、中央公園周辺の移設、いわゆる公共交通拠点の整備事業につきましては、中央公園と一体となった町民の交流や、暮らしの拠点つくりを目指す重要な事業な一つであることから、現時点においては、計画通り事業を進めることとなっております。</p> <p>④については、現状においては、財政調整基金残高を確保するという理由で、公共料金等を値上げする考えはありません。今まで同様に、受益者負担の適正化を図る中で、公共料金等についての検討を行ってまいります。</p> <p>⑥については、現状のまま行財政運営を継続した場合の試算となりますので、この危機感を職員が共有し、一丸となって行財政改革を進めていくことで、適正な基金残高を確保してまいります。歳出が増えていく主な要因としましては、ご意見にあるように、予想を上回る物価高騰や人件費の増加となります。人件費の抑制については、すぐに下げるすることは現実的なことではありませんが、将来的な、なり手不足を補う意味でも、AI・DX を活用することで、業務の効率化を図りながら進めていきたいと考えております。</p> <p>事業の見直しにつきましても、今までも実施しておりますが、時代とともに効果が薄ってきた事業や、より効果の高い事業への財源の配分などを行いながら実施をしていきたい、と考えております。</p> <p>公共施設の在り方、統廃合については、具体的な施設を想定しているわけではありませんが、本町には公共施設等総合管理計画や、公共施設再編計画という計画がございます。それらに基づき、コスト縮減とサービス水準の維持を目的に公共施設の総延床面積を約15%縮減することを目指しております。</p> <p>次第2（1）の説明は以上です。</p>
小藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より次第2（1）「武豊町第8次行革プラン（案）の修正と意見について」説明を頂きました。</p>

	ただいまの説明について、ご意見等はありますか。
青木委員	今回、この文章的な修正ですけども、財政調整基金が5年間で無くなると、そういう説明の文章に変わったんですが、10月にあった保育所運営審議会で、町長の挨拶で、あと5年で財政調整基金が無くなるんですが、と言っておられたんですが、この財政調整基金が無くなるというのは、総務部から出てきた話でしょうか。
中川 課長補佐	ありがとうございます。 保育所運営審議会の話の詳細は不明なので申し訳ないですが、今回、この試算結果を出したのは、財政担当にてシミュレーションをかけた、ということになります。このことは、パブリックコメントにかけた、本プランでもそうですし、令和8年度予算編成方針の中でも、記載をさせて頂き、周知をさせて頂いている、というところでございます。
青木委員	この文章を書くこと自体が、私はびっくりしているのですが、町が破綻しますよと言っているものですから。このようなことは書きたくないのですが、総務部長もよく180億円の予算があるのに、苦しいと言っているのですが、昔は130億円程度だったと思うのですが、180億円あって、確かに人件費と建設費は上がっていると思いますが、原因は本当にそれだけでしょうか。
池田 総務部長	総務部長の池田武彦です。よろしくお願いします。 確かにですね、令和の2年くらいまでは、130～140億円程度の予算となっていました。 ここ数年がですね、180億近くの予算を組んでいるのですが、予算が膨らんでいる主な要因には、例えば大規模な普通建設事業があります。 町の予算は、必ずしも町の税金のみで歳入を賄っているわけではないものですから、様々な事業をやることによって、国や県からの補助金でありますとか、そういうものも入ってきます。 そのときの社会情勢によって、予算自体は大きくなったり小さくなったり、することもありますので、その要因の中に、昨今の物価高騰や人件費の増加というのは、もちろん含まれてい

	<p>ると思います。</p> <p>特に人件費については、職員の人件費が増加するということは、もちろん社会全体の人件費が増加しているということですので、例えば民間さんにお願いする事業も人件費の構成部分が上がってくる、ということになります。</p> <p>また、よく言われているのが扶助費でして、こちらについても、高齢化が進んでくれば、当然ながら扶助費は大きくなっています。</p> <p>単純に180億円の数値だけをみれば、大変な予算なのですが、その中身というものは、その時々の社会情勢によって大きく異なってまいりますので、ご理解頂ければと思います。</p>
青木委員	<p>公共施設を建てるとなれば、予算は増える、扶助費も増えてくる、今後はそういう部分もしっかりと見て、予算組をしていかないと、財政調整基金が無くなるというのはおかしな話で、何年か忘れましたが、中長期計画が議会に出されたときに、そこで400万円かそこらの残りだと、10年先には、という話があって、そのときはそのような運営はおかしい、と言われて頂いたのですが、今回も似ていると思っていまして、事業を遅らせるとか、中長期財政計画の見直しをやっていかないと、財政調整基金が無くならないような計画を今後作っていって頂きたいと、思いますのでよろしくお願いします。</p>
小藤会長	<p>他に質問など、ありませんでしょうか。</p> <p>ないようですので、それでは、続きまして、次第2（2）「パブリックコメントの結果について」、事務局より説明をお願いします。</p>
中川 課長補佐	<p>それでは、次第2（2）「パブリックコメントの結果について」説明致します。</p> <p>資料3「パブリックコメント結果」をご覧ください。</p> <p>パブリックコメントは、2名から、2件の意見を頂きました。各意見と、事務局の回答案は資料に記載のとおりです。内容について、概要をご説明します。</p> <p>1つ目のご意見につきましては、町長の公約関係の件になりますが、町としましては、基本的に、日々様々な関係者と調整</p>

	<p>を行いながら、実現に向けて取り組んでいくこととなります。載っていないからやらない、というものではなく、回答に記載のとおり、調整がつき次第、検討を進めていくこととなります。</p> <p>2つ目のご意見につきましては、様々な項目が記載されてはおりますが、主に「財政調整基金が底を突くという表現が過剰ではないか」、「工事などで重複した余計な経費がかかっているのではないか」、「町の所有する土地を売却して収入を得たらどうか」という点に関して、回答案を考えております。</p> <p>回答は少し長くなっていますが、先ほどからお話をしている財政調整基金の件については、概算の試算結果ということで、上振れ、下振れする可能性はあります、今回の財政見通しを重く受け止める必要があるという点をお答えしています。</p> <p>また、予算編成に関して、国庫財源や関係機関等の都合等、どうしても年度を分けてしか実施できない事業もあります。</p> <p>町としましては、そうした場合でも、最少の経費となるよう、努力をしている旨を記載させて頂きました。</p> <p>最後に、土地の売却、収入の増加につきまして、一部プランに記載してあるとおり、役場全体として大変重要なことであると認識している、という回答にしております。</p> <p>これらの2件のご意見に関しまして、事務局としましては、特段プラン自体の修正が求められる内容ではないと判断しましたので、パブリックコメントを受けてのプラン修正はありません。</p> <p>パブリックコメントにつきましては、本日の皆様のご意見を伺った後、1月号の町広報紙及び町ホームページに、プラン策定の報告とともに掲載する予定としております。</p> <p>以上で、次第2（2）の説明を終わります。</p>
小藤会長	<p>ありがとうございました。 事務局より次第2（2） 「パブリックコメントの結果について」、 説明を頂きました。 事務局の説明にありましたとおり、特に異議がなければ、こ</p>

	<p>の内容にて公表されることとなります。 ただいまの説明について、ご意見等はありますか。</p>
羽山委員	<p>先ほどから議論をされている財政調整基金の件ですが、今回のパブコメの意見にもあるかと思いますが、今回の第8次のアクションですかね、ここが根底的な話になってくると思うのですが、これをこのままやっていくと、財政調整基金が底を突いてしまうと、そういう意味でしょうか。</p>
中川 課長補佐	<p>先ほどの説明が不足しており申し訳なかったです。今回計画の本文の記載を修正しているという話をさせて頂きましたが、現状のままの行政運営を続けた場合に、令和12年に財政調整基金が底を突く可能性が出てきたというシミュレーションの結果ということであります。</p> <p>当然、今ある状況というのは、想定を上回る人件費や物価高騰を入れ込んでシミュレーションをしておりますので、それに対応するように、我々は、この行政改革プランを始めとした、行財政改革を進めることによって、適正な残高を確保していくと、そういうことあります。</p> <p>このまま何もせず、このプランに書いてあることもやらずにこのまま進めていくと、底を突くと、そういうことでありますので、よろしくお願ひします。</p>
羽山委員	<p>もう1点お願ひします。そうだとすれば、アクションプランについて、今後見直しをしていく中で、基金を減らさないような工夫をしていくと、そういう取組になってくるという認識でよろしいでしょうか。</p>
中川 課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>アクションプランにつきましては、まずは町職員全体で一体となって進めていくことが、前提になります。</p> <p>ただし、5年間の中で、状況は様々変わっていきますので、毎年度振り返りを行いながら、必要な施策はどうなのか、この行革プランの方向性に沿った取組であれば、修正し、良い方向にアクションをかけていく、ということを行っていきますので、よろしくお願ひします。</p>

池田委員	<p>5年間アクションプランをやっていって、最終的には12年には財政調整基金がマイナス4億円ちょっとになってしまふ、ということなんですが、このアクションプランの5年間の目標、達成する金額、そういういったものがあるのでしょうか。</p> <p>財政調整基金が段々と減ってきて、そうならないようためにアクションプランの項目に目標の金額を設定されていると思うのですが、それに対しての5年後、どの程度達成しましたというものは出せるのでしょうか。</p>
中川 課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>まず、アクションプランに関しまして、毎年度振り返りを行っていく中で、翌年度どういうことをやっていくのか、という進捗管理を行っていきます。それに関しては、後ほど説明をしますが、委員の皆様にも意見を伺いながら、また町ホームページでも公表をしていきますので、皆様方に周知をしていくこととなります。</p> <p>アクションプランの項目によっては、目標金額を設定しているもの、していないものと様々ですが、それに関しては、都度の状況によって金額を設定することを想定しています。</p>
小藤会長	<p>他にはよろしかったでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、続きまして、次第2（3）、 「答申（案）について」です。</p> <p>事務局から説明のありましたとおり、「資料1」が、最終的なプラン（案）となっています。</p> <p>本プランについて、ただいまから答申案の確認を行うことしますが、今一度、プラン全体について、何かご意見はありますか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、審議結果の取りまとめをさせて頂きます。</p> <p>今回の第8次行革プラン（案）について、本日を含め、全3回にわたる委員会を開催し、内容について慎重に審議を行って</p>

	<p>きました。</p> <p>答申に向けた結論と致しまして、武豊町第8次行革プラン(案)は、社会経済や地域環境の変化を予測する中、「住民サービスの改革」、「業務・体制の改革」、「行財政運営の改革」の3つを基本目標に、住民ニーズの多様化、急速に発展するデジタル社会など、本町を取り巻く複雑な社会情勢への対応などをも意識した取組項目となっており、本文8ページに記載のある、「改革の取組方針」の内容と相違なく、おおむね妥当であると考えます。</p>
	<p>本委員会で頂きました、有意義な意見や提案についても、答申書で申し添えることとし、まずはプラン全体が妥当であるかを諮りたいと思います。</p> <p>それでは、お諮り致します。</p>
	<p>本委員会に、質問を頂きました「武豊町第8次行革プラン(案)」については、「おおむね妥当である」との結論に、ご異議はありませんか。</p> <p>ご異議のない方は挙手をお願いします。</p>
委員	(全員挙手)
小藤会長	<p>ありがとうございました。全員挙手を頂きました。</p> <p>それでは、答申案の内容について、確認をしてまいります。</p> <p>まず、本プランの推進にあたっては、委員より発言のあった内容ですが、「縦割り行政の考えではなく、横串を中心とした行政運営」、また、「全庁・全職員での取組」が必要であると考えます。</p> <p>次に、審議をとおして、財政計画や、基金の残高に関するご意見も頂きました。</p> <p>これらにつきましても、事業の根幹となるお金の話でありますので、しっかりとした予測を立て、計画的な行財政運営を行って頂きたいと考えます。</p> <p>つきましては、この点につきましても、記載したいと考えております。</p>

	<p>併せて、私より、総括的な事項として、1点申し添えたいと思います。</p> <p>武豊町だけではありませんが、昨今の物価高騰や人件費の増加は驚くほどで、どの自治体でも対応を考えていかなければならぬことだと考えております。</p> <p>これに加えまして、これからの中財政運営は、少子高齢化社会や、各種公共施設の老朽化など、大変厳しい状況になっていくことが見込まれています。</p> <p>武豊町には、安定した中財政運営を継続するためにも、経常的な経費や、事業等の縮減、廃止を検討するなど、未来を見据えた取組を実施し、よりよい住民サービスを提供できるように、努めて頂きたいと考えています。</p> <p>従いまして、この点についても記載したいと考えております。</p> <p>これらの内容を取りまとめ、答申案とさせて頂きたいと考えますが、皆様ご異議はありませんでしょうか。</p> <p>ご異議のない方は、挙手をお願い致します。</p>
委員	(全員挙手)
小藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様に承認を頂きましたので、この内容にて答申書案を作成したいと思います。</p> <p>なお、答申書案の作成については、私と事務局に一任頂けますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>ありがとうございました。それでは、異議なしと致します。</p> <p>それでは、ただいまから答申書案を作成致しますので、10分程度休憩とします。</p> <p>再開は45分からでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは休憩と致します。</p>

	(10分間休憩)
小藤会長	<p>それでは、時間となりましたので、再開致します。</p> <p>皆様の机上に、事務局より答申（案）が配布されました。</p> <p>案文について、事務局から読み上げをし、内容を確認後、意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>それでは、事務局お願ひします。</p>
中川 課長補佐	<p>それでは、答申書案を読ませて頂きます。</p> <p>会長のお名前で、鳥羽町長に答申をするものです。</p> <p>武豊町第8次行革プランについて（答申） 令和7年7月14日付け武総発第82号で諮問のありました武豊町第8次行革プラン（案）について、本委員会において慎重に審議を重ねた結果、次のとおり答申します。</p> <p>武豊町第8次行革プラン（案）は、社会経済や地域環境の変化を予測する中、「住民サービスの改革」、「業務・体制の改革」、「行財政運営の改革」の3つを基本目標に、住民ニーズの多様化、急速に発展するデジタル社会など、本町を取り巻く複雑な社会情勢への対応などをも意識した取組項目となっており、おむね妥当であるとの結論を得ました。</p> <p>なお、本プランの推進にあたっては、下記の点に十分配慮されるよう申し添えます。</p> <p>記として、2点を申し添えております。</p> <p>1点目、昨今の物価高騰や、人件費の増加、また少子高齢化社会や公共施設の老朽化など、これからの中財政運営は厳しい状況が見込まれている。</p> <p>安定した行財政運営を継続していくためにも、経常的な経費や、事業等の縮減、廃止を検討するなど、未来を見据えた取組を実施し、よりよい住民サービスを提供できるように努めること。</p> <p>また、将来的な財政状況を予測するとともに、町の貯金である財政調整基金についても、適正な残高の確保に努めること。</p>

	<p>2点目、行革プランを進めるに当たり、所管となる担当部・課だけで進めていくのではなく、行政改革推進本部などで、状況に応じて個別に検討を進めるなど、横の連携を強化しながら、全庁、全職員で取り組むように努めること。</p> <p>以上です。</p>
小藤会長	<p>ありがとうございました。 読み上げされた案文について、ご意見があればお伺いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、ご意見はないようですので、この案文を答申書とすることで異議はありませんか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>ありがとうございます。それでは異議なしと致します。</p> <p>皆様に承認頂きましたので、本答申書をもって、本委員会終了後、私から鳥羽町長へ答申したいと思います。 次第2（3）については、以上です。</p> <p>それでは、続きまして、次第の3「その他について」、事務局より説明をお願いします。</p>
中川 課長補佐	(次第3：今後のスケジュール等について説明)
小藤会長	<p>ありがとうございました。 事務局より次第3「その他について」説明を頂きました。 ただいまの説明について、ご意見等はありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは意見もないようですので、これで進めさせて頂きます。ありがとうございました。</p>

	<p>3回にわたる行政改革推進委員会を開催しまして、皆様の貴重なご意見を頂戴したこと、感謝申し上げます。</p> <p>意見、そして考えを第8次行革プランに反映して頂ければと思います。事務局もありがとうございました。</p> <p>よく、色々な事業を考えるにあたって、目的と手段という言葉をよく使われます。</p> <p>事業を考える、また進めていくにあたって、常に目的は合っているのか、それを実現するための手段は正しいか、ということを検証して進めて行って頂ければと思います。</p> <p>長く続いている事業の中には、手段が目的化していると、と言われることがあります。やることが目的になっている事業が数多くあるかと思いますので、これから行政改革を進めて行く中では、常に目的と手段を検証して、進めて頂ければと思います。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、本日の議事は全て終了しました。</p> <p>皆様、ご協力ありがとうございました。 議事の進行を事務局にお返しします。</p>
長谷川 総務課長	<p>小藤会長、議事進行をありがとうございました。</p> <p>本日承認頂きました、武豊町第8次行革プラン（案）については、先ほど説明がありましたとおり、この後、小藤会長より答申を頂くこととなります。</p> <p>皆様方には、お忙しいところ、本委員会へご出席を頂き、また、貴重なご意見を頂きましたこと、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで、総務部長の池田より、皆様にご挨拶をさせて頂きます。池田総務部長、お願ひします。</p>
池田 総務部長	<p>総務部長の池田です。本日はありがとうございました。</p> <p>皆様方におかれましては、お忙しいところ、第1回より3度に渡る本委員会へご出席を頂き、また、慎重なご審議を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>小藤会長におかれましては、スムーズな議事の進行をして頂</p>

	<p>き、大変感謝しております。ありがとうございました。</p> <p>当初、事務局からも説明があったとおり、令和8年度からは、町の財政状況が大きく変動する時期であるとともに、住民ニーズの複雑化や、行政現場におけるデジタル技術の利活用など、町を取り巻く情勢も大きく変わっていくことが予想されております。</p> <p>こうした新しい時代の変化の中においても、取り残されることなく、安定的な住民サービスを提供していくために、全庁・全職員が一丸となって、本プランに取り組んでまいります。</p> <p>最後になりましたが、委員の皆様方におかれましては、今後もより良いまちづくりのために、本プランの推進にご協力を賜りますようお願いを申し上げ、挨拶に代えさせて頂きます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
長谷川 総務課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど事務局からも説明しましたとおり、令和8年度より、本プランによる取組を推進していくこととなります、1年度の振り返り、またその結果について、令和9年の5月頃に報告をさせて頂きます。</p> <p>その際には、またご意見等を頂き、次年度のアクションプランへ反映させ、よりよいプランの推進を進めていきたいと考えておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、お忙しい中、本委員会へご参加を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして、第3回武豊町行政改革推進委員会を終了させて頂きます。</p> <p>皆様、ありがとうございました。 お気を付けてお帰りください。</p>